

本荘小防災マニュアル

(保存版)

倉敷市立本荘小学校

令和8年度版

もしもの時に備えて、よく見える
ところに置いておいてください。

- ・ 暴風警報・暴風雪特別警報及び避難指示等の
発令時の対応について……………P 1・P 2
- ・ 地震発生時の対応について……………P 3・P 4
- ・ 引き渡しのお知らせの仕方について……………P 5
- ・ 来校・下校の仕方について……………P 6
- ・ 本荘小 災害用伝言ダイヤル体験利用について……………P 7

※7月1日(水)体験利用日〈ぜひ体験してください〉

—P6を参考にしてください—

特別警報・暴風・暴風雪警報等および避難情報等発令時の対応について

「高齢者等避難」(警戒レベル3)・「避難指示」(警戒レベル4)について(倉敷市の基本的な対応です)

● 学校園所在地(倉敷市児島塩生1750)において発令された場合

(1) 登校前に発令された場合

- 警戒レベル3「高齢者等避難」発令・・・高齢者や障害のある人は避難
小学校は通常通り登校としますが、保護者の判断により登校を控えた場合は、欠席(遅刻を含む)扱いとしません。
- 警戒レベル4「避難指示」発令・・・全員避難
午前6時の段階で発令されていた場合は、臨時休業とします。

(2) 登校後に発令された場合

- 警戒レベル3「高齢者等避難」発令・・・高齢者や障害のある人は避難
小学校は、保護者から申出があった場合は、保護者への引渡しを基本として下校させ、早退扱いとしません。
- 警戒レベル4「避難指示」発令・・・全員避難
保護者への引渡しによる下校を基本とし、状況によっては教員の誘導により下校させます。ただし、発令地域に自宅がある場合は、保護者と相談して判断します。緊急を要する場合は新たな避難場所へ誘導します。

「暴風警報」・「特別警報」(大雨・暴風等、高潮、波浪、暴風雪、大雪)が発令されたとき

● 倉敷市に暴風・暴風雪の「警報」もしくは、「特別警報」が発令されている。

① <u>午前6時</u> に上記の警報が発令されている	臨時休校
② 午前6時に発令されていたが、その後解除された	

☆ ①②の場合、あゆみクラブはありません。

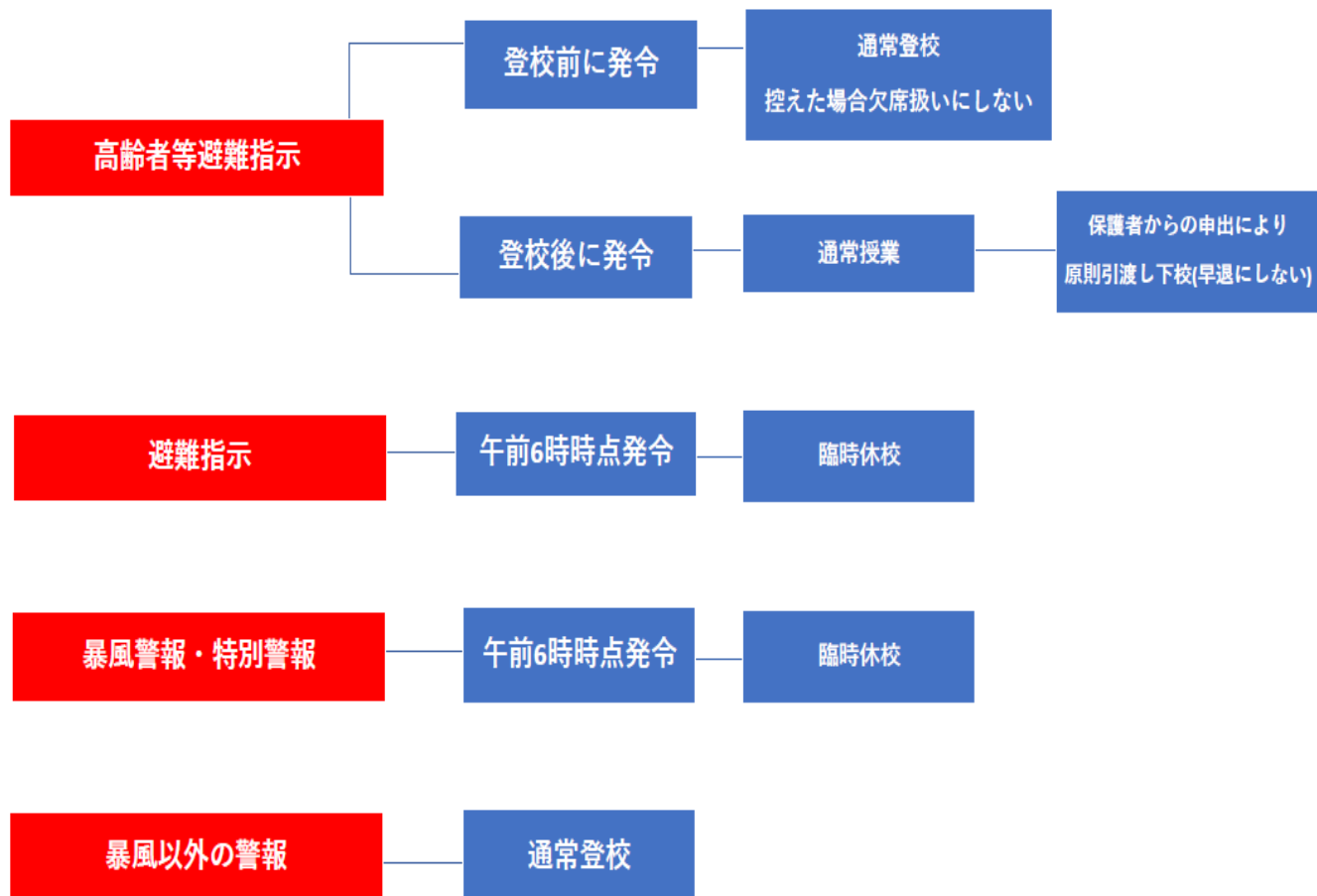
※前日から臨時休校の決定があった場合も、あゆみクラブはありません。

★ 対応に係る留意事項(防災情報の入手について)

避難準備情報や避難指示の発令状況については、次の方法により情報を入手してください。

「倉敷防災ポータル」「倉敷市ホームページ」「おかやま防災情報メール」「緊急告知FMラジオ」「災害情報共有システム Lアラート(NHKデジタル放送)」「有線放送」「屋外拡声塔」「広報車」等

※ 国の基準の変更等が行われた場合は、それらの情報をもとに随時、改定していくこととなりますので、お知りおきください。その際には、改めてお知らせいたします。



地震発生時の対応について(お知らせとお願い)

1 児童が学校にいて地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

保護者に引き渡しとなります。保護者連絡帳で連絡できない場合が考えられます。連絡を待たず引き取りに来てください。保護者が引き取りに来られるまで、避難場所(学校等)で待機させます。

※津波・土砂災害等、危険が迫っている場合は、迎えよりもまず自分の身の安全を最優先してください。

「震度4以下のとき」

校内の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、引き渡しをしたり、いつもより早めに教職員付き添いで下校したりする場合があります。保護者連絡帳を確認してください。

2 児童が在宅中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。(学校からの安否確認があります)余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。

「震度4以下のとき」

自宅周辺及び通学路が安全であれば、原則として登校します。危険があるときは、学校にお知らせください。

「震度5弱以上のとき」

(1) 安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確かめて(2)の行動をとります。

(2) 自宅、学校の近い方または安全な方へ避難します。

(避難する場所や方向は子ども自身で判断することも想定し、家庭で相談して決めておいてください。)

(3) 自宅に戻った児童は、自宅待機とします。(学校からの安否確認があります。)

(4) 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

「震度4以下のとき」

安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確かめて、そのまま登校・下校をします。ただし、状況に応じて、いつもより早めに教職員付き添いで下校する場合があります。

◎揺れを感じたら、ブロック塀や高い建物、海岸などからすぐに離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。

建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめ、机等の下に避難する。

※震度の大きさに関わらず、自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難する、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話でのお問い合わせはお控えください。

登校日に



大地震が起きた時の学校・家庭の対応

大きな地震（震度5弱以上）が起こったら、本荘小では次のように対応します。

児童が**学校**にいるときの対応

➡自動的に児童は**引き渡し**になります。

学校・児童

- ① 揺れが収まるまで安全を確保
- ② 児童は教師の指示で運動場に避難
- ※土砂災害が起きたら本荘公民館へ避難
- ※工場爆発が起きたら鷲羽高校へ避難
- ③ 引き渡し保護者連絡帳発信(できない場合あり)
- ④ 児童の**引き渡し**
状況を見て、運動場や校舎内・体育館などになる。
※迎えが来ない場合は、学校で保護する。

児童が**家**にいるときの対応

➡自動的に児童は**自宅待機**になります。

学校

- ① (可能な時は)保護者連絡帳で自宅待機メールを発信
- ② 情報収集と学校再開に向けて、関係諸機関との調整

家庭・児童

- ① 保護者連絡帳、TV、ラジオ等で状況把握
- ② 学校再開の連絡を待つ。
※学校から安否確認があります。

優先順位

- ① 保護者連絡帳 ② 電話
- ③ 家庭訪問 ④ 避難所訪問

～大地震発生～

瓦が落ちる、家具が倒れる
立ってられないなど
大きなゆれの地震
(震度5弱以上)

児童が**登下校中**

の場合の対応

➡自動的に児童は**引き渡し**になります

児童

- ① 揺れが収まるまで、その場で安全確保
- ② 揺れが収まったら、
<登校中> 登校班で学校か家の近い方、または安全な方へ避難
<下校中> 下校パトロールや子ども110番の方に相談して学校か家の近い方、または安全な方に避難。近くに誰もいないときは自分で判断

学校

- ① 揺れが収まるまで安全を確保
- ② 在校児童を運動場に避難させ、在校児童、登下校中の児童の安否確認
- ③ 在校児童の引き渡しを実施

家庭の対応

- ① 保護者連絡帳、TV、ラジオ等で状況把握

もしメールが発信されなくても



登下校中なら

- ② 通学路の安全確認をしながら児童を迎えに行く。(交通渋滞を避けるため近くの方は、徒歩をお願いします)
児童と会えたら、自宅で待機等、身の安全を確保。※学校から、**安否確認があります**。
児童が学校まで来ていたら、迎えに行く。

授業中なら

- ① 避難場所(学校等)へ迎えに行く
保護者が迎えに来るまで、児童は学校で保護しています。

☆この文書は、本校ホームページにも掲載します。

引き渡しのお知らせの仕方について

(1) 「保護者連絡帳」でお知らせする場合

<例文>

本日、これから引き渡しを行います。

「引き渡しマニュアル」をもとに、学校にお越しになってお子様を引き取ってください。車両でお越しの方は、出入り口が一方通行ですので順路をお守りください。

この状況ですので、下ぐつのまま教室までご移動ください。よろしくお願いいたします。

お迎えに来られない状況でしたら、「電話」もしくは「災害用伝言ダイヤル171」でご都合をお知らせください。お迎えに来られるまでお子様を学校で保護します。

本荘小学校

<訓練の場合>

- ・ 近くの方は、できるだけ徒歩でお越しください。
- ・ 上履きをご持参ください。

(2) 災害用伝言ダイヤルでお知らせする場合（電話もメールも不通の時）

児童の安否情報や被災状況等をメッセージに録音します。

(第1報の例)・「〇月〇日〇時〇分、こちらは本荘小学校です。先ほどの(災害)に対し、本日登校した児童は、全員無事です。ただ今、学校で保護しています。」

(第2報の例)・「〇月〇日〇時〇分、こちらは本荘小学校です。ただいまから保護者への引き渡しを行います。」

「引き渡しマニュアル」をもとに、学校にお越しになってお子様を引き取ってください。保護者をはじめ、引き取りの方が学校に来られるまで、児童は保護していますのでご安心ください。」

※保護者の方はメッセージを再生して状況を把握してください。

再生の仕方<ダイヤル「171」→「2」→「086-475-0821」>

(災害用伝言ダイヤルのメッセージの時間は、限られていますので何度かに分けて録音します。)

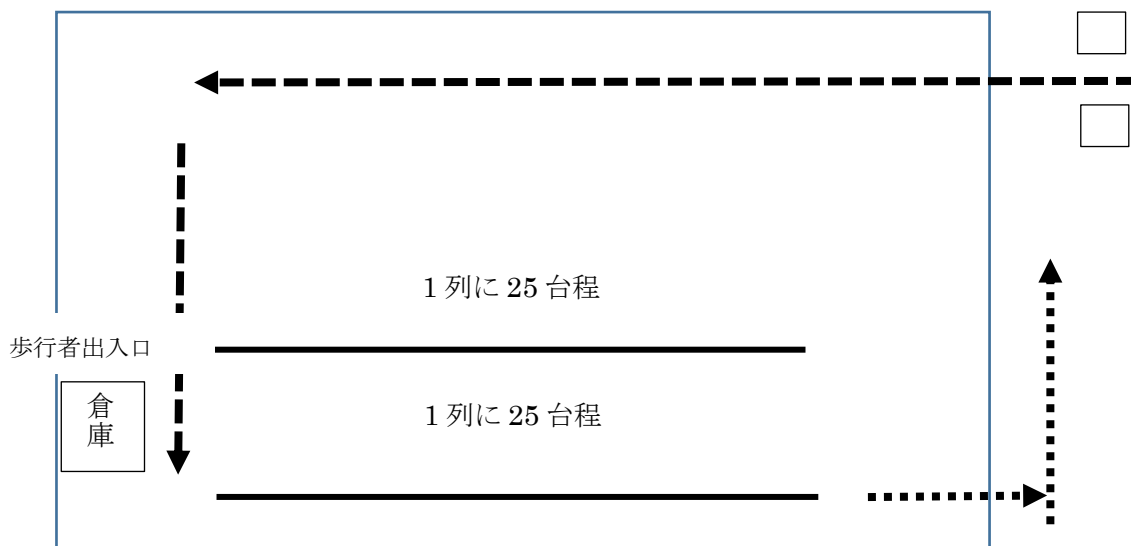
※保護者が学校に状況を伝える場合

例)「〇年の〇〇の保護者です。無事ですが、引き取りに行くことができません。〇時頃には、行くことができると思います。」

学校にメッセージを送る方法

<ダイヤル「171」→「1」→「080-9689-5772」>

来校・下校の仕方について



校舎配置図

※校舎の出入りについて



階段は、運動場側階段（西階段）をご使用ください。

※土砂災害を想定していますので、渡り廊下は使用できません。



本荘小 災害用伝言ダイヤル体験利用について

日時 7月1日(水) 体験利用日

【体験利用日 毎月1日、15日】



NTT西日本

災害用伝言ダイヤル 171

～あなたの無事を伝えましょう！～

電話を利用して被災地の方の安否情報を確認する「声の伝言板」です。

ご利用方法

171 にダイヤル

音声ガイダンスによるご案内

録音は **1** 再生は **2**

音声ガイダンスによるご案内

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

市外局番 市内局番 お客様番号

0 - - -

音声ガイダンスによるご案内

ガイダンスに従い、録音（再生）

災害用伝言ダイヤル(171) ご利用の注意

！ **ご利用できる電話**

加入電話、ISDN※、公衆電話、ひかり電話※、災害時特設公衆電話からご利用できます。携帯電話やPHSからもご利用いただけますが、詳しくは各通信事業者へお問い合わせください。
※ダイヤル式電話機をお使いの場合、ご利用になれません。

¥ **ご利用料金**

伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。NTT東日本またはNTT西日本の電話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。他通信事業者の電話から発信する場合の通話料については各通信事業者にお問い合わせください。

ご利用の詳細案内
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

災害用伝言ダイヤルの利用方法（ガイダンスに沿って進めてください）

① <学校からの伝言を聞く場合>

「171」 → 「2（再生）」 → 「086-475-0821（本荘小の電話番号）」

学校からの伝言から聞くことができます。

【7月1日9時時頃に、学校が伝言用ダイヤルに録音します。】

（第1報）「体験利用・訓練です。7月1日9時現在、本荘小学校付近は、非常に激しい雨が降り続けています。予報によれば、今後、さらに長く降り続くそうです。本日登校した児童は、全員の無事が確認できています。今後の状況を見て、下校の仕方等をご連絡いたします。」

～30秒録音 新しい情報から聞くようになる～

② <学校へ伝言する場合>

「171」 → 「1（録音）」 → 「080-9689-5772」（本荘小学校の学校携帯番号）」

学校へメッセージがある場合は、伝言を録音して下さい。

（録音例）「体験利用です。〇年生の〇〇です。今、引き取りに行く状況ではありません。しばらくあずかっていてください。また、ご連絡いたします。体験利用・訓練です。」

【体験利用の伝言蓄積数は20件しかありませんので、録音できない場合もあります。】

※ 学校の伝言を聞く場合と、学校へ伝言する場合の

電話番号が違いますので、お気をつけてください。

ぜひ、体験してみてください。